

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 16 年 11 月 25 日 (2004.11.25)

【公開番号】特開 2002-244128 (P2002-244128A)

【公開日】平成 14 年 8 月 28 日 (2002.8.28)

【出願番号】特願 2001-35139 (P2001-35139)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 2 F 1/13357

F 2 1 V 8/00

G 0 2 F 1/1333

G 0 9 F 9/00

// F 2 1 Y 103:00

【F I】

G 0 2 F 1/13357

F 2 1 V 8/00 6 0 1 F

F 2 1 V 8/00 6 0 1 D

G 0 2 F 1/1333

G 0 9 F 9/00 3 3 6 J

F 2 1 Y 103:00

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 12 月 4 日 (2003.12.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一対の基板と、当該一対の基板間に挟持される液晶とを有する液晶表示素子と、
前記液晶表示素子の表示面と反対の側に配置されるバックライトユニットとを具備する液晶表示装置であって、
前記バックライトユニットは、導光体と、
前記導光体の少なくとも 1 つの側面に、前記液晶表示素子の表示面からの距離が互いに異なる位置に複数配置されるとともに、前記液晶表示素子に照射光を照射する複数の光源と
、
前記複数の光源を覆うとともに、前記複数の光源の各光源間に配置され、他の光源からの直接光を遮蔽する遮蔽手段を有する反射部材と、
前記導光体と、前記複数の光源と、前記反射部材とを収納する収納部材とを備え、
前記反射部材および前記遮蔽手段は、金属で構成され、
前記収納部材は、一部が金属で構成され、
前記反射部材は、前記収納部材の前記金属部と熱的に接続されていることを特徴とする液晶表示装置。

【請求項 2】

前記導光体の 1 つの側面に少なくとも 2 本の光源が配置されているとともに、前記導光体の前記 1 つの側面と反対側の側面にさらに少なくとも 2 本の光源が配置されていることを特徴とする請求項 1 に記載の液晶表示装置。

【請求項 3】

前記反射部材および前記遮蔽手段は、前記各光源と対向する面が反射面とされていること

を特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の液晶表示装置。